

一体型LEDベースライト スクエアタイプ 埋込型



施工説明書
取扱説明書

保管用

(一般屋内用)

□600 PiPiit調光タイプ		FHP45形×4灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)45014	FHP45形×3灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)45014
タイプ	光 色	パネル付点灯ユニット品番	パネル付点灯ユニット品番
パネル	昼白色【5000K】	NNFK47400J	NNFK47300
	白 色【4000K】	NNFK47401J	NNFK47301
	温白色【3500K】	NNFK47402J	NNFK47302
	電球色【3000K】	NNFK47403J	NNFK47303
□450 PiPiit調光タイプ		FHP32形×4灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)35014	FHP32形×3灯相当タイプ 適合本体品番 NNFK(NNFKH)35014
タイプ	光 色	パネル付点灯ユニット品番	パネル付点灯ユニット品番
パネル	昼白色【5000K】	NNFK37400J	NNFK37300
	白 色【4000K】	NNFK37401J	NNFK37301
	温白色【3500K】	NNFK37402J	NNFK37302
	電球色【3000K】	NNFK37403J	NNFK37303

- ・上記()内は加工品番です。
- ・特注品の適合本体品番：FAHX7、FAHX30、FTE980D、FTE980DS、FTE981D、FTE981DS、NSR84L9、NSR83L9(以降、加工品番および特注品番の記載を省略します)。
- ・本照明器具はパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで性能を満足します。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

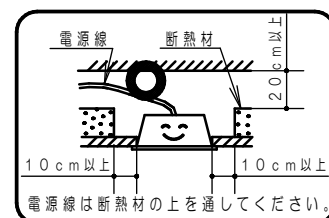
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



警告

- パネル付点灯ユニットを単独で使しない。必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- パネル付点灯ユニットが破損した状態で使しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使すると、感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使しない。火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具とコントローラー及び通信補助器はペースメーカーや医療電気機器から20cm以上離して使用する。送信電波を受けると、誤動作の原因となります。

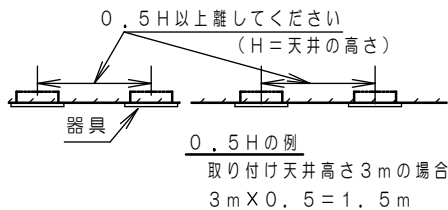


注意

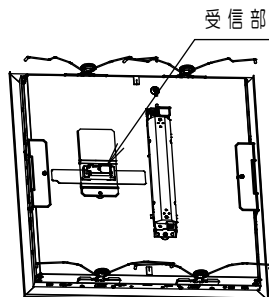
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使してください。指定外の周囲温度で使すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使しないでください。(一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。)光学性能に影響を与える場合があります。
- 入力電圧が242Vの場合、漏洩電流を考慮し1回路当りの接続台数を下記の台数以下としてください。(定格電流20A、感度電流30mAの漏電ブレーカの場合)
 - ・FHP45形×4灯相当タイプ、FHP45形×3灯相当タイプ・・・38台以下
 - ・FHP32形×4灯相当タイプ、FHP32形×3灯相当タイプ・・・42台以下
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

施工上のご注意

- 器具間は、必ず下図のように「天井の高さ×0.5」以上あけて取り付けてください。密集して取り付けると、器具を個別に操作できません。



- 照明器具を5～6m程度の高天井に設置した場合や密集して設置した場合には、複数の器具が同時に操作・設定されることがあります。その場合は、P i P i t ハンディライコンを照明器具に近づけて操作してください。尚、6m以上の高所に照明器具が設置された空間ではご使用になれません。
- 器具とP i P i t ライコン及び通信補助器は50cm以上離して施工してください。近すぎると動作しない場合があります。
- 内装変更で遮蔽物が介在するなど、通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。
- 受信部をつかんで、パネル付点灯ユニットを持ち上げないでください。破損の原因となります。



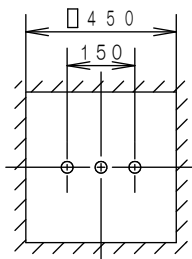
- コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。パネル付点灯ユニットの故障・短寿命の原因となります。
- 万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりパネル付点灯ユニットは点灯しません。
- スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。）
- 入力電圧が242Vの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますのでスイッチは必ず非接地側にお取付けください。
- T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- 当社適合コントローラとの組合せにより、光出力を約10%～100%に変化させることができます。尚、壁や柱などの遮蔽物で、照明器具を直視できない場合や照明器具がうまく動作しない場合は別途、通信補助器を設置してください。
- 適合コントローラ及び通信補助器は、当社製品をご使用ください。使用方法、注意事項については、適合コントローラの承認図取扱説明書、施工説明書をご確認ください。

各部のなまえと取付方法

埋込穴・取付ボルト位置

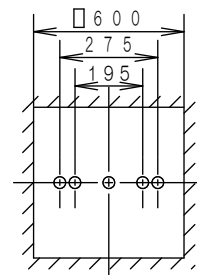
(□450タイプ)

- 取付ボルトは、センター1本吊りまたはP=150 2本吊りとなります。



(□600タイプ)

- 取付ボルトは、センター1本吊りまたはP=195 P=275 2本吊りとなります。

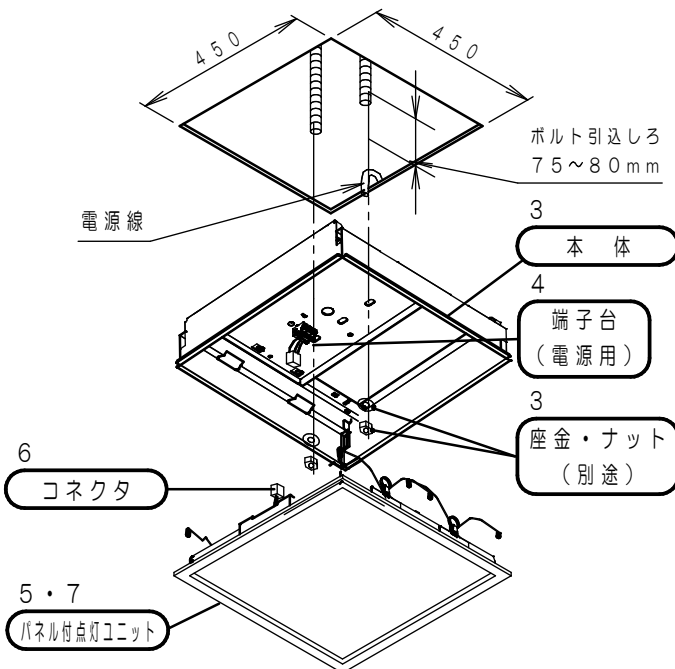


各部のなまえと取付方法（つづき）

警告

- パネル付点灯ユニットの取付・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

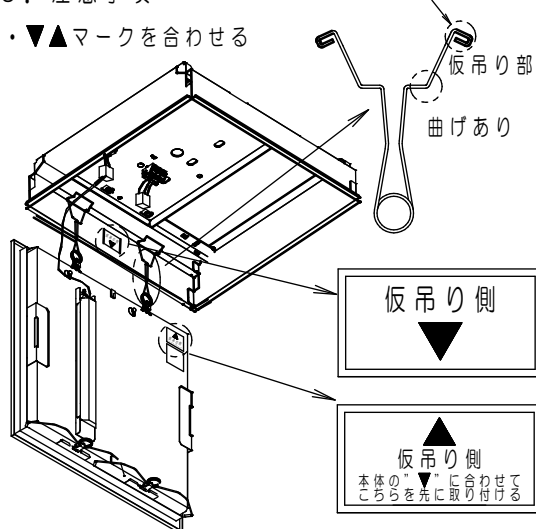
※XL574PFVJRZ9の例で説明しています



5. 注意事項

- ・▼▲マークを合わせる

・仮吊り時はここを掛ける



- ・本体内面の▼マークとパネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて曲げのあるキックパネを本体に引掛けた後コネクタを接続する。

1 取付前の確認

- ・器具質量（8.0kg：XL584PFVJRZ9の場合）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。
- ・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

2 埋込穴の開削

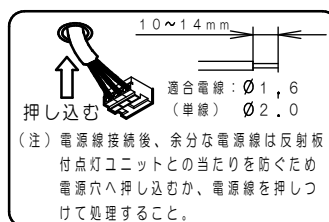
- ・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3 本体の取付

- ・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・内部配線を傷付けないように取付ける。
- ・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
（推奨トルク：0.8N・m）
（締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります）
- ・ボルト1本吊りの場合、ダブルナットで取付ける。
- ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

4 電源線・アース線の接続

- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・端子台の容量は、20Aです。
（送り機能付）



5 パネル付点灯ユニットの仮吊り

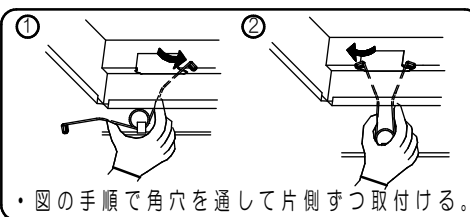
- ・本体内面の▼マークとパネル付点灯ユニット背面の▲マークを合わせて曲げのあるキックパネを本体に引掛ける。
（□450・□600：2ヶ所）
（仮吊りは左図の仮吊り部で行う。
曲げ部で行うと7. パネル付点灯ユニットの取付が行いにくくなります。）
取付方向を間違えると、感電・火災の原因となります。

6 コネクタの接続

- ・コネクタを接続する。
「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。

7 パネル付点灯ユニットの取付

- ・パネル付点灯ユニットについている反対側のキックパネを本体に取付ける。
（□450・□600：2ヶ所）
- ・パネル付点灯ユニットを押し上げる。
- ・コネクタ及び器具内線を挟まないように注意する。
不備があると、パネル付点灯ユニットの落下・感電・火災の原因となります。



使用方法

- ・ご使用方法に応じて、以下の手順に従い設定してください。

使用方法

一台ごとに調光する

組合せライコン

PiPiitハンディライコンとの組合せ

確認する取扱説明書

PiPiitハンディライコンの取扱説明書をご確認ください

用途に応じて一括調光する

PiPiitハンディライコン+PiPiitライコンとの組合せ

PiPiitハンディライコンとPiPiitライコンの取扱説明書をご確認ください

設定した時間帯で自動調光する

PiPiitハンディライコン+PiPiitライコンスケジュール機能付との組合せ

PiPiitハンディライコンとPiPiitライコンスケジュール機能付の取扱説明書をご確認ください

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 必ずパナソニック製スクエアタイプ専用本体とパネル付点灯ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、パネル付点灯ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
- そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- パネル付点灯ユニットを取外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。



注意

- パネル付点灯ユニットの交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年※経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。
- LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- （チェックシート番号：CLX2021HA）点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- この器具には920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は分解・改造すること、また認証ラベルを剥がしたりラベルの無いものを使用することは法律で禁じられています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。

■LED照明器具の光源寿命（※2）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部（パネル付点灯ユニット部）を長時間直視しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・LED素子にバラツキがあるため、パネル付点灯ユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ・パネル付点灯ユニットの品種により始動時間が異なる場合があります。
- ・光出力比（%）と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・コントローラと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
- ・同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。低い調光域では段階光のように動作する場合があります。
- ・適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もパネル付点灯ユニットが薄暗く発光する場合があります。
- ・下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。
- ・コントローラと照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ・コントローラと照明器具間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ・コントローラの周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど） ・操作する人の体の向きで電波をさいぎっている。
- ・コントローラの近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ・近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電波地域または各種無線局がある。 ・コントローラの近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。

保証について

- ・保証について・・・・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の・・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。
- 保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・パネル付点灯ユニットの取外し

- ・器具の清掃について・・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
- 変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

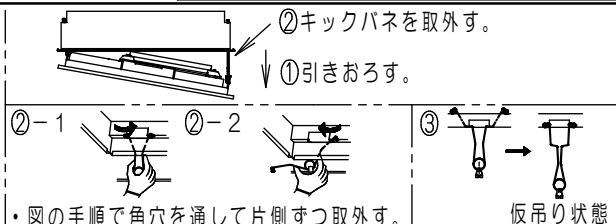


警告

- 感電のおそれあり。
- お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

（パネル付点灯ユニットの取外し方）

- ① パネル付点灯ユニットを引きおろす。（右図のように斜めになります。）
- ② 下により下がる側のキックパネを取外す。
- ③ 仮吊り状態にし、コネクタを取外す。
- ④ 仮吊りしているキックパネを取外す。



・図の手順で角穴を通して片側ずつ取外す。

■定格

	FHP45形X4灯相当タイプ			FHP45形X3灯相当タイプ			FHP32形X4灯相当タイプ			FHP32形X3灯相当タイプ		
定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
入力電流	0.62A	0.30A	0.26A	0.55A	0.27A	0.23A	0.44A	0.22A	0.18A	0.35A	0.18A	0.15A
消費電力	61W	60W	60W	54W	53W	53W	44W	43W	43W	35W	35W	35W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709(フリーダイヤル) 0120-872-460(FAX)

MN0616-040121